



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第4号 2020年7月31日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <http://www.spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

いよいよ明日から夏休みです。ゆっくりと体や心を休めつつ、安全で有意義な夏休みとなることをお祈りしています。

8月の予定 

	行事	お弁当
1(土)	夏季休業(~8/19) JCI JAPAN WORLD WEB SUMMIT(~8/8)	
2(日)		
3(月)	学校閉鎖(海の日振替休業日) シアトル姉妹校 オンライン夏期英語集中プログラム	
4(火)	学校閉鎖(スポーツの日振替休業日) ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ(~8/8)	
5(水)		
6(木)		
7(金)		
8(土)		
8月9日(日)~16日(日) 学校閉鎖期間		
17(月)		
18(火)		
19(水)	寄宿生 帰舎日	
20(木)	始業 オンライン朝礼(8:40~、校長先生より) オンライン学習期間(~8/25)	
21(金)		
22(土)	編入学試験	
23(日)	英検二次	
24(月)		
25(火)		
26(水)	通常授業開始 放送朝礼 地理コンテスト(1校時) 課題研究ミーティング②	要
27(木)		要
28(金)		要
29(土)	姉妹会執行部役員選挙(3校時)	※
30(日)		
31(月)	高1GI SDGsスピーチ発表会(2~4校時) 2019秋期・冬期 海外短期留学等報告会リハーサル(放課後)	要

※ 必要な方は昼食をご用意ください。

梅干し弁当募金

7月8日(水)に行われた梅干し弁当募金では、**総額 47,254 円**を寄付していただきました。

新型コロナウイルスの影響で生活が苦しくなったインドネシアの方々を支援しているインドネシア聖心会の活動に役立てていただきます。ご協力ありがとうございました。

「アメリカの今を考えるワークショップ」に参加

在札幌米国領事館主催「Understanding #Black Lives Matter and the Movement for Social Justice in America ~アメリカの今を考えるワークショップ~」が6月28日(日)に行われ、高校生3名が参加しました。アメリカの人種差別事件と、抗議デモを通して人種問題を乗り越えようとする人々の姿、実際に差別を受ける立場に身を置く側からの TED メッセージ等に触れて、差別をなくすために何ができるかを領事の方たちや国内外の学生と話し合い、考える貴重な機会となりました。交流会を含め4時間にも及ぶワークショップを熱心に受けた3人は早速、アクション・プランを考えているところです。



Sr.Henni オンライン講演会

インドネシア聖心会の Sr.Henni が札幌の生徒たちにインドネシアと現地の聖心会の活動についてお話してくださいました。インドネシアの国の歴史や自然などの基本情報から、1989年から始まった聖心会の活動、日本人のシスター方との出会い、インドネシアの人々の宗教心や多宗教との共生、そしてコロナ禍における現地のシスター方の活動などについて、時にユーモアを交えてお伝えくださいました。

HOPE - How to Offer Peace Everyday

毎日どのように平和をもたらしていくか、Sr.Henniをはじめインドネシアの若いシスター達の想いに触れる機会でした。



今月の聖句

父よ、私があなたのうちにいるように、 すべての人をひとつにしてください…

ヨハネ福音書 17章 21節

これはイエスが受難の前に祈ったことばです。神様の私たちへの夢ともいえます。ところが世界には相変わらず分断が増えています。この数か月を振り返ってみても、世界は新型コロナウイルスによって揺るがされ、人間の心の弱さはあらゆるところであらわになりました。自分を守るためにマスクを買いだめしようという自己中心や、感染した方々やその関係者を差別扱いしたりする心の狭さが噴き出してきました。医療を受けられる体制にない国々、社会的距離を置けと言われても不可能な生活状況にいる人々のところでは、感染拡大に歯止めはつかなくなり、あらゆるレベルでの分断が進んでいます。同時に、人種差別の問題も深刻化しています。

もちろん、人間の強さ、美しさもあらわになりました。昼夜を問わず、自分の身の危険をも顧みず働く医療関係者や、市民の生活を支える仕事をする人々の姿、また、その人々を応援し、励ます様子が皆の心を打ちました。自分のできる小さな奉仕や、働きや祈りでこの危機を乗り越えようとする努力が輝いていました。神様の夢に近づく動きです。

このたび、距離をとることを余儀なくさせられて一番はっきりしたことは、私たちにはどれほど「つながり」が必要であるかということではないでしょうか。かかわりをもつことが、人を生かす力であることも理解するようになりました。すべての命がつながっていることもわかってきました。

学校ではオンラインの学習を進め、社会的距離を保ちながら心をつなげる工夫をしてきました。生徒たちが、家庭学習をしての振り返りに、「家族とのかかわりが深くなってうれしかった」「家族からいつも当たり前のこととしてうけていたことに気づいてお手伝いをした」「友達に会いたいという思いが募った」などと書いていたのは、かかわりがどんなに大事かをあらためて感じたからだと思います。

神様の夢である「皆が一つになる」ことの実現は、一人一人のかかわりによるのだと改めて考えました。聖心の家族である私たちには、周りの人々との絆を大切に、神様が最も心をかけておられる苦しむ人、悲しむ人、疎外されている人に神の愛を届ける使命があることを思い起こし、夏休みにはそれぞれの場でかかわる力を育てられるようにと祈ります。

[担当：Sr.新庄美重子]